

# 岡山 SRH 研究会 会報誌 ～ 第 5 号 ～



平成19年1月13日  
岡山 SRH 研究会  
運営委員会

寒中お見舞い申し上げます。

お正月気分が抜けきれず、朝起きるのも大変つらい季節です。冬の寒さも急に勢いを増し、体もびっくりしています。体調を崩されることなど無いよう、よく食べよく寝てしっかり笑い、健やかな日々をお過ごしくださることをお祈り申し上げます。2007年が、皆様にとって幸多き年となりますように。  
(運営委員会 会報誌係)

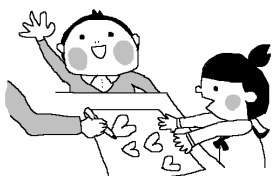
## 第11回研修会報告

平成18年11月26日(日)、第11回研修会が、岡山県ボランティア・NPO活動支援センター(ゆうあいセンター)で開催されました。今回は、『SRH活動デモンストレーション～思春期保健活動をより楽しくするために～』というテーマで実施され、現場で活かせる指導法やゲームを、楽しく学び得ることのできる有意義な研修会となりました。

それぞれの担当者から頂いたコメントと、参加者の言葉、またアンケートの結果について、ご報告いたします。

### 「ライフスキルトレーニングを用いた模擬性教育授業」

関西福祉大学看護学部・岡山県立大学博士後期課程 富岡美佳



ライフスキルは心理・社会的能力と言われています。その能力を育てる事により、自尊感情や自己効力感が高められると言われています。模擬授業では、アイスブレイキングで非言語的コミュニケーションの持つ力や、ロールプレーなどで積極的な自己表現の大切さを知ります。また、グループダイナミクスにより相互に働きかける力を活用し自分が感じ(felling)学ぶ事を進めていきます。SRH 中学校のみなさんはとても明るく元気で楽しい模擬授業ができましたよ。

参加者より

積極的な発言やアピールをしたグループには、先生から、次々とごほうび(ハートマーク)が贈られます。これは、大人の私達でもかなり喜んでしまいました。子ども達の授業で、大いに盛り上がる様子が目に浮かび、ぜひ実践してみたいと感じました。

### 「デートDVって知ってる? 子どもたちの隠れたDVを見つけるためには」

ウイメンズクリニック・かみむら 福原博子、上村茂仁



研修会で実際に臨床の現場のデートDV症例、症例を見つけるためにクリニックでどんなことをしているかということを発表しました。また中高生向けの講演会でどのようにデートDVを話しているかも紹介しました。デートDVを講演に盛り込むと中高生から大変な反響があります。それだけ、彼・彼女らにとっては身近に感じられるものなのです。繰り返される性感染症や望まない妊娠の影に隠れているデートDV。リプロダクティブヘルスに関わる私たちは「デートDV」をまず知ることから始めていきましょう。

参加者より

ロールプレーでは、今の中高生だけでなく、大人のカップルの間でも、よくありがちなやりとりが表現されていました。デートDVが、実はとても身近なことであり、それゆえ、つらい思いをしている本人でも気づかずに(認めずに)いる場合があると知り、問題の深さを実感しました。

### 「すぐできる楽しいゲーム STIリスクとコミュニケーションスキル」

岡山市保健所 中瀬克己



手順書と様式を用いて比較的簡単に試行することができる。ゲームの方法を実演できる協力者がいることが望ましい。自己主張的と攻撃的、受動的という3つの行動のタイプを提示し、ゲームを通じて色々な人との交渉でうまく自己主張的交渉が出来るか試してもらおう。また、交渉結果を見て、主張を通す、相手に合わずといった自分のタイプを振り返ってもらおう。さらに、ゲーム中に交換した記号を性感染症と想定して、相手の過去の交渉が自分に及ぶことを感じてもらう。注意点は、HIV感染者が1人いるとのゲーム上の想定だが、それに当たった生徒へのショックや後でのいじめなどへの配慮が必要なこと、ゲームの参加者に HIV 感染者や近い人がいることを想定して説明する必要があることである。

参加者より

PNゲームで、私は唯一のHIV陽性者役でした。そうとは知らずに30人中4人の方と交渉しました。4人目に交渉した方は、すでに私が交渉した別の相手から感染しており、知らずに広がる感染ネットワークの恐ろしさを実感しました。

## アンケート結果より

20名(男性1名・女性19名)の方からアンケートのご協力をいただきました。

参加者の活動領域は地域保健6名、医療1名、学校教育7名、その他の領域4名でした。

アンケートからは、福原先生・上村先生のデートDV講座では、「ロールプレーを取り入れており具体的対応がわかりやすい」、中瀬先生のPNゲームは「HIVの拡大をゲームを通してわからせることができ、授業で活用できる」、富岡先生のライフスキルの模擬授業からは、「性教育という枠にとらわれずコミュニケーションのとり方などから人を思いやる心が感じられ、生きる上で忘れがちなことを子どもや周りの方々に伝えたい。」という感想を頂きました。それぞれの持ち時間が少なかった事から、全部聞いてみたいという感想や、今後も研究会に望む事は異業種間の連携や、実践報告などあればいいなということでした、また、講演希望は、現在の会に所属するメンバーの講師が多くあげられていました。ご協力ありがとうございました。



## 上村茂仁先生のコラム【5】

『世界に一つだけの自分!!』

電話相談を受けているベテランの助産師さんが先日、あわてて電話をしてこられました。高校2年生の男の子からの相談で、その男の子は先輩の男子が好きで今付き合っている、時々先輩の家に行っては、セックスすることもある、という内容でした。この質問になぜ助産師さんは慌てたのでしょうか？このところ連続でトランスジェンダーの講演会を聞いて来た私ですが、勿論、まだまだわからないことは沢山あります。ただ今わかることは、人間は、生まれながらに決められた性、廻りから見られている性、自分の思っている性、自分がなりたい性、自分が好きになる対象の性、大きく分けるとこの5つ(勿論もっともっとたくさんの別かれ方をしますが、ここは簡略して)の性を持っていて、その組み合わせが人それぞれで違うということです。そしてさらにややこしいことに時間がたてばその組み合わせが変わることもあるということです。この男の子はたぶん生まれながらに男性(M)、周りから見られている性もM、自分の思っている性(不明、聞いていません)、自分がなりたい性(不明、聞いていません)、好きな対象の性M、と言うことですね。私はその助産師さんに、もし高校2年の女の子に好きな彼がいて、彼の家で時々セックスをしている、という相談だったらどう答えますか？さらに女の子と違って彼は見た目、男なので、人目を気にして付き合わなければいけないというハンディーも持っているのですよ、と話しました。私の話を聞いて今まで困惑の声だったその助産師さんは急に元気な声になり、わかりました!!ありがとうございました、と意気揚々と電話を切りました。



生まれたときに私たち医師や助産師がその性器の形から子供の性別を決めてしまいます。はっきりしない性器の場合はその近い形の性に無理やり決めてしまうこともあります。でもその押し付けの為に、心も身体も傷ついている子供たちもいます。私にメールで沢山の子供たちがそのような悩みを相談してきます。また、生まれながらにMで自分の思っている性は女性(F)の子が、付き合っている、生まれながらにFで心はMの子からDV被害を受けていて、相談所に電話したら、その子の声がMの声だったために、相談員からあなたが悪いからではないかとひどい言われ方をしたと泣いていた子もいました。



これからの性教育を考えて行くときに、このことも心にしっかり留めておかないと大変な間違いを犯してしまいますよね。現実の世界ほど複雑な世界は無いですね。

となると女性の総合診療所と看板を出している私のクリニックですが、当然心がFの方を診察しなければいけない...ただ解剖的には身体がFの人を診るべき...?

## コラムバトンリレー

第5走者 > SRH研究会運営委員 瀬川 真生

上村先生に「SRHという研究会をしているんだけど来てみない?」と言われ、SRHが何の略であるかもわからぬまま参加をさせていだいて1年が経ちました。SRH研究会の中では性感染症の岡山県の現状などをタイムリーに聞くことができ、現状認識ができました。SRH研究会の一番すばらしい点は、医師、保健師、看護師、養護教諭など通常ではあまり話し合う機会がない方々が集まり、互いの知識や情報を伝え合い、協力し合えば大きな効果が得られることです。養護教諭の立場から、常に必要と感じていた、地域の医療機関との連携がそこにはありました。養護教諭は、一校にほぼ一人の配置であり、医療知識を持った人々との相談・協力が校内ではできませんでした。その点で孤独を感じたり、悩みを一人で抱え込んでしまうことが多々ありましたが、SRH研究会の存在ができてからは一緒に情報交換をしたり、研究会を開催することで個人の力を伸ばすだけでなく、人々が連携することで得られる情報量の多さや解決法の多様性を知ることができました。

4月から大阪で公立学校の養護教諭として再スタートをします。大阪では、SRHで学んだことを生かした保健室運営をしたいと思います。最後になりましたが、上村先生をはじめ、研究会の方々に多くを学ぶことができたことを深く感謝いたします。

瀬川委員には会の運営にあたり多くの場面でご活躍いただいております。採用試験の合格、本当におめでとうございます。これまでのご尽力に感謝するとともに、今後の更なるご発展とご活躍をお祈り申し上げます。



## お知らせ

- ・次回研修会は、3月18日(日)に開催します。別紙案内をご確認ください。
- ・本会へのお問い合わせは、FAXにて、下記連絡先へお願いします。

会報誌第5号の作成にあたり、多くの方々のご協力を頂きました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。  
問い合わせ先>岡山SRH研究会事務局(ウィメンズクリニック・かみむら) 岡山市本町4-18 FAX(086)803-5339